

キャラクター名
紅野玄秋 (こうのはるあき)

プレイヤー名

シンドローム	バロール		ワークス	高校生	カヴァー	高校生
	バロール			年齢	17	性別
オプション						
覚醒	素体	衝動	破壊	初期侵食率	32	%
出自	義理の両親	経験	約束	邂逅	同志	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	0	1	0			1	行動値	11
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	11
精神	4	0	3			7	戦闘移動	16
社会	2	0	0			2	全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	2	
運転:運転:バイク	2		芸術:			知識:			情報:噂話	6	
運転:			芸術:			知識:			情報:UGN	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
UGNボディーマー	18	8			

合計装甲: 8 合計回避: 0

所持品	
制服	
携帯電話	
カジュアル	
アクセサリ	
バイク	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
義理の親	P 慕情	N 隔意		
玉野椿	P 慈愛	N 不快感		
テレーズ・ブルム	P 信頼	N 憎悪		
桔梗カズミ	P	N		
黒コートの男	P	N		
	P	N		
触媒(カタリスト)	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:バロール	2	2						
効果:	クリティカル値を下げる							
黒の鉄槌	7	1	メジャー	視界	-	対決	-	
効果:	攻撃力:+[Lv×2+2]の射撃攻撃							
黒星の門	1	2	メジャー	-	-	-	ピュア	
効果:	判定ダイス+[Lv+1],同一エンゲージに使用可能にする							
斥力障壁	5	2	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	対象のダメージを-[1D+Lv×2]							
赤方偏移世界	4	2	セットアップ	視界	単体	自動	-	
効果:	対象の行動値+[Lv×2]							
灰色の庭	2	2	セットアップ	視界	単体	自動	-	
効果:	対象の行動値-[Lv×3]							
魔王の理	3	2	メジャー	-	-	-		
効果:	攻撃力:+[Lv×2]							
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果:	判定を失敗させる。シナリオ1回							
時間凍結	1	5	イニシアチブ	至近	自身	自動	80↑	
効果:	イニシアチブに行動できる。カタリストの自分バージョン							
ゴズミックインフレーション	3	2	セットアップ	範囲(選択)	自身	自動	ピュア	
効果:	対象:範囲(選択)にする。シナリオにLv回							
ポケットディメンジョン	★	-	メジャー	至近	空間	自動	-	
効果:	ありえない空間を作り出す							
帝王の時間	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	クロックアップ状態になる							
効果:								

紅野は小さい頃にオーヴァードの実験体としてUGNに引き取られた。そこで重力を操るシンドローム、バロールの能力を付与され、自身の能力と向き合いながら生活を始める。

小さい頃から面倒を見てくれていた職員からは家族と変わらない扱いを受け、家族の絆というものを学んだ。しかし、子供心ながら、「どこかが違う」と一線を引いていた。その結果、誰に対しても常に敬語で話すようになってしまった。

やがて成長した紅野は、オーヴァードとしての活動を始める。その時について教官が玉野氏であった。彼女は紅野を厳しく指導し、また紅野もそれに従い応えていく。訓練課程がすべて終了する日、玉野氏は紅野にこう言った。「私がお前をここまで鍛えたのはお前を戦場で死なせるためではない。必ず帰ってこい。そのための力をお前に授けたんだ」「ええ、帰ってきますよ。必ず」紅野は長期間の訓練の中で、玉野の心にある深い悲しみに触れ、その悲しみを癒したいと考えていた。この時の約束は紅野の胸に深く刻み付けられたのであった。

やがて紅野は高校生として一般社会へと戻ることになる。彼は入学した高校で、一羽のフクロウを見かける。なぜか胸にざわつくものを感じた彼はフクロウを追いかける。やがて一人の少女、テレーズ・ブルムと出会う。紅野は彼女と会話をするうち、彼女の持つ思想に共鳴し、紅野もまた混乱するUGNをまとめ上げるべく、実力をつけることを決意する。テレーズとは同じ目的を持つ仲間として信頼を寄せることになる。

こうして、紅野は普段は普通の高中生、いざという時は重力を操りジャームを駆逐する戦士という二重の生活を始めるのであった。

「A Day」
ウィルス適合者の可能性がある今中真波を注視、護衛していた紅野。学校からの帰り道、たまたま彼女と帰りが同じになった紅野は、護衛を兼ねて同じバスに